

6月定例議会を6月2日から5日まで開きました。

条例の改正や補正予算などについて慎重に審議しました。ここでは主なものを紹介します。(各議案の審議結果は6ページに掲載しています。)

条例制定・改正

常勤特別職 給与の減額

新型コロナウイルス感染症対策の財源に充てるため、7月から令和3年3月までの給与を町長は、10パーセント、副町長と教育長は、8パーセント減額する提案を認めました。

国民健康保険税 介護保険料 減免の拡充

新型コロナウイルス感染症の影響で主たる生計維持者の死亡や収入が減少すると見込まれる場合、納付期限後でも申請することにより、減免できることにしました。

国民健康保険税 限度額の改正

課税限度額の上限を引き上げました。
改正内容(上限額)
・基礎課税額
61万円 ↓ 63万円
・後期高齢者支援金等課税額 19万円
・介護納付金課税額
16万円 ↓ 17万円

賛成討論

中低所得層の被保険者に配慮した保険料設定が可能となり、負担の軽減を図ることができるとの内容である。
富永やよい 議員

介護保険料の 減額

所得が第1〜第3段階の第1号被保険者の保険料を軽減しました。

軽減内容(年額)

- 第1段階 5, 276円減
- 第2段階 8, 793円減
- 第3段階 1, 758円減

人事案件

山林監守人の 選任同意

任期満了に伴い、新たに「小笠原 栄二さん」の選任に同意しました。任期は4年です。

反対討論

新型コロナウイルス感染症対策の施策は、国の全額補助事業ばかりである。町の財政に大きな負担をかけるような事業提案はない。そのような提案を行い、あわせて、給与の減額提案を行うべきである。まだ町単独の事業提案のない時機に減額するのは、町長のパフォーマンスでしかない。
宗像啓之 議員



議場も窓を開けマスク着用です

反対討論

4月の法令改正を受け、国の方針どおりの負担増を町民に押し付けるものである。12年間で10回の引上げにより課税限度額が99万円になった。本当に持続可能な制度とするには、加入者の中で穴埋めするのではなく、国庫負担割合を大幅に引き上げるしかない。
岡田良訓 議員

補正予算

予算委員会を6月4日に開きました。審査の結果、賛成多数で可決しました。

予算委員会での 主な質疑

Q ヒ素検出に伴う新庁舎建設設計変更予算は、売主の広島県と責任の所在を明確にして計上すべきでは。
A 処理にかかる経費を確定しないと県と協議できない。

Q 小中学校に非接触型の体温計を配布する予定にしているが、予算計上が遅いのでは。
A 予備費で購入を計画したが、業者に在庫がなく現在に至った。

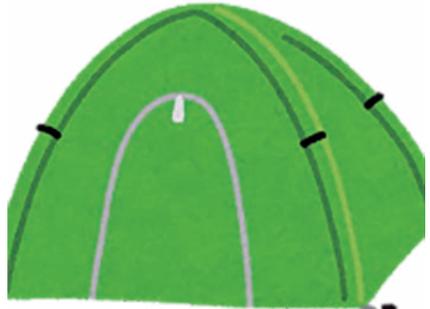
一般会計補正予算 (賛成多数で可決)

新庁舎建設の実施 設計変更 800万円

新庁舎建設予定地の土壌汚染に対し、広島県から健康被害が生ずるおそれのない区域と指定されたことを受け、土壌汚染対策内容とスケジュールなどを整理する業務を委託します。

聖火リレー関連 1309万円 減額

オリンピック・パラリンピックの延期に伴い、関連予算を減額しました。



災害時における対策の一環

避難所用仮設 テント購入 50万円

避難所の感染症対策として、3〜4人用のワンタッチ仮設テントを100張購入します。

産後サポート 事業の無料化 20万円

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、妊産婦教室の延期や帰省分娩を取りやめるなど、産後の支援が得られにくくなっているため、産後サポート事業の利用者負担金を無料にしました。

学校のICT 活用事業 542万円

災害や感染症の発生による学校の臨時休業などの緊急時において、ICTを活用するため、児童生徒1人1台タブレットの早期実現を図り、カメラやマイクなどを購入し、オンライン学習環境を整備します。

小・中学校に体温計 82万円

登校時に児童生徒の体温を測るため、非接触型の体温計を購入します。



学校再開までに間に合えばねえ〜